

いにしえ

古の美術品

H29.1.16(月)
南日本

牙製垂飾品

弥生時代(約2200年前)



イノシシなどの牙に孔(あな)を開けた首飾りです。イノシシはシカと並び縄文時代で最も食べられていた動物です。強さの象徴であったとともに、命をいたたく感謝の思いもあったのかもしれない。

(県立埋蔵文化財センター)

南さつま市・高橋貝塚 (河口コレク
ション) (随時掲載)